



皆で踊りの練習をしています！（フィリピン孤児院）

特定非営利活動法人 礎の石孤児院理事長

北野 直人

皆様の御支援、サポート、ありがとうございます。先日、孤児院の理事とスタッフ数名で、何件かの会社へ電話や訪問をさせていただきました。私共孤児院の働きとともに、児童養護施設建設のご支援をお願いすることが中心的な目的ですが、具体的な支援まではいきませんでした。働きに対して非常に良い印象をもっていただくことができました。とくに、前向きに検討していくというお返事をいただき、今後の展開に大いに期待がもてるものとなりました。現在、カンボジア孤児院から、毎月の運営費に約300ドルの増額が要請されています。子供達の成長と、物価の値上げ等の現地の経済状況からみれば、300ドルでは不足かとも思われます。おそらく、東京事務局の経済状況を理解し、かなり遠慮した額を言ってくるものと思います。こちらもなんとか要請に応じていきたいのですが、ただ、皆さまのご支援に頼らざるを得ないのが正直なところです。また、カンボジア孤児院のみならず、ザンビア孤児院、フィリピン孤児院も少しでも、運営費の増額を希望してきています。皆さまのご支援、サポートにはいつも本当に感謝しております。さらに少しでもご支援を増やしていただくことができるなら、私共にとって、これほどありがたく、かつ心強いことはありません。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為、皆様からのご支援とご協力を心から感謝申し上げます。2月に中学と高校の全国統一の前期試験が行われ、受験した2人の子どもたちは無事に合格する事が出来ました。後期試験は、6月頃行われる予定です。後期も良い結果が出るようにと祈り願っています。4月に、カンボジアは新年を迎えます。学校は2週間前後休みとなり、孤児院の現地スタッフ達も入替わりでお正月休みを取る予定です（4/5現在）。2年ほど前に出産の為退職したスタッフが、子どもも落ち着いてきたので手伝いたいと



ジャックフルーツを美味しく食べる子どもたち！

申し出てくれて、ご主人も良く知っている方なので、夫婦で臨時スタッフとして入ってもらっています。現在、カンボジアの著しい経済成長と平行して物価も上昇しています。このような中で、毎月の運営費が不足している状況です。後300ドル追加して頂ければ願っています。皆様にご理解頂きまして、ご支援とご協力を頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様のご支援を心から感謝いたします。毎学年、子どもたちは良い成績を修めています。子どもたちの家庭や生活にはいろいろな問題がありますが、しかし子どもたちはその夢がいつの日か実現すると信じて、それぞれの夢に向かって進んでいます。ここフィリピンでは「貧困」が、子どもたちが学校へ行かれない主な原因となっています。しかし、礎の石孤児院のサポートにより、「貧困」はもはや障害ではありません。パートナーの皆様、支援者の皆様の経済的なサポートは、子どもたちの夢を実現することを可能にしています。卒業式や成績優秀生徒の表彰式で舞台上に立っている子どもたちの姿を見る時、とても嬉しい気持ちになります。まもなく新学年がスタートします。



先生のお話を真剣に聞く子どもたち！

子どもたちが引き続き学校へ通えるようにご支援をお願い致します。次の学年においても学校の登録費、教科書などの学用品代、制服・上履きなどの必要があります。また白のポロシャツ、白のTシャツ、カーキ色の長ズボンまたはジーンズ、学校用の靴(黒)、学校用バックパックなどをご寄附いただけましたら幸いです。皆様のご支援を心から感謝致します。引き続きフィリピン孤児院へのご支援を、どうぞよろしくお願い致します。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に、ザンビア孤児院一同、心から感謝申し上げます。4月に入り、ザンビアも暑い日が続いています。私自身も産後1カ月を経て、順調に回復して、元気いっぱいに感じられるようになってきました。早いもので、日本に帰国してから既に5ヶ月が過ぎました。電話でザンビアの子どもたちと話すこともあるのですが、皆元気にやっているようで、嬉しく、また頼もしく思っています。今月から、7人の子どもたち全員が無事に進学できるようになりました！ザンビアの新学年は、1月から始まるのですが、経済状況の厳しさもあって、全員揃っての進学が難しいこともあります。5月から2学期が始まりますが、2学期分の学費約18万円が緊急に必要とされています。全員残らず継続して通学できるように支援をどうぞ宜しくお願い致します。



制服にすまし顔の男性陣！

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様のご支援とご協力をいつもありがとうございます。3月11日にブラジルへ戻りました。翌日から体調が悪くなり、発熱などの風邪の症状で自宅療養していました。ブラジルの病院には以前通院していたことがあり、大規模な病院はほとんど政府系で施設も技術も優秀なのですが、個人的に薬が強すぎて体に合わなかったこともあって、今回は自分の体調の様子を見ていました。心配をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。次回からは相談できる個人の診療所をどなたかに紹介してもらえるようにしておかなくてはと思います。体調のほうは、もうだいぶ回復してきました。さらに通常通りに活動できるように、基礎体力を整えています。引き続きご支援をどうぞよろしくお願い致します。



サンパウロに到着後の松本スタッフ！

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>